SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：凸版印刷株式会社
西日本事業本部　熊本営業所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄） ※ご参考:トッパンサステナビリティレポート2021 https://www.toppan.co.jp/assets/pdf/sustainability/2021/csr2021 detail-ja.pdf	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット）																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・ポータルサイト、社内教育などを全社的に実践、熊本営業所でも受講している								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・コンプライアンス遵守教育と取引関連法規遵守の教育を全社的に実施、熊本営業所でも受講している ※ご参考:トッパンサステナビリティレポート2021　P.111-112																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・「贈賄防止管理規程」「贈賄防止管理ガイドライン」制定、贈賄防止に関する教育を全社的に実施、熊本営業所でも受講している ※ご参考:トッパンサステナビリティレポート2021　P.112										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・社内にサステナビリティ推進委員会を設置、さらに下部にSDGs・リスクマネジメント・ESGに関するワーキンググループを設置し、各部門からの情報収集と施策・立案を実行している ・熊本営業所では所長が責任者として、管理・運営している																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・知的財産の侵害防止に向けた教育を全社的に実施、熊本営業所でも受講している ※ご参考:トッパンサステナビリティレポート2021　P.112								8.2 8.3	9								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報に関しては熊本営業所から個人情報を送る場合にはセキュリティガード便を使う等、情報セキュリティ管理部の指導内容をもとに管理・徹底している ※ご参考:トッパンサステナビリティレポート2021　P.51																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・CSR調達ガイドラインの公表等によるサステナブル調達の推進、環境配慮型製品の提案等による社会的価値創造の共創、株主総会やIRレポート公表による財務状況開示等を行っている																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・取引先へのCSR調達ガイドライン説明と売買基本契約の締結を全社的に実施、熊本営業所でも実施している ※ご参考:トッパンサステナビリティレポート2021　P.61-63					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画（BCP）を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・BCPを策定し、事業を早期に復旧するための対応手順を「災害対策基本計画」にまとめ、毎年見直しを行っている ・各人1セットずつ防災グッズを熊本営業所内に備えている ・全社的に防災訓練を実施、熊本営業所でも実施している ※ご参考:トッパンサステナビリティレポート2021　P.117-118									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている											8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。				1	2			5			8				12	13	14	15	16	17

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 凸版印刷株式会社
西日本事業本部　熊本営業所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄） ※ご参考:トッパンサステナビリティレポート2021 https://www.toppan.co.jp/assets/pdf/sustainability/2021/csr2021 detail-ja.pdf	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・全従業員に対し、「職場におけるハラスメントの防止に向けて」の教育を実施、熊本営業所でも実施している ・職場毎に選任された行動指針推進リーダーにおける行動指針の啓発活動を熊本営業所でも実施している ・「トッパングループ人権方針」の内容周知と近年の人権に関する社会動向の啓発に関するeラーニングを実施、熊本営業所でも受講している ※ご参考: https://www.toppan.co.jp/sustainability/social/human-rights.html				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・労災につながる備品（カッター等）の使用方法に関する取り決めがある ・メンタルヘルス対策として、オリジナルストレスチェックを全社的に展開、熊本営業所でも実施している ※ご参考:トッパンサステナビリティレポート2021　P.31-32			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員の賃金は、従業員の能力、役割等に応じた報酬体系となっており、従業員の性別等による違いを設けていない ・報酬については従業員にフィードバックを行い、評価基準を公表している					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・ワークライフバランス（リモートワーク制度導入、休暇取得促進等）を全社的に推進、熊本営業所でも実施している ※ご参考:トッパンサステナビリティレポート2021　P.33-34			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・デジタル人財強化プログラムを全社的に実施、熊本営業所でも実施している ※ご参考:トッパンサステナビリティレポート2021　P.43-46				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・健保主催イベントを全社的に実施、熊本営業所でも参加している ※ご参考:トッパンサステナビリティレポート2021　P.30			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。			・「ダイバーシティ推進室」を設置、各事業所のダイバーシティ推進委員が各事業所の特色に合わせて施策を展開している （例）仕事と育児の両立支援、オンラインでのLGBTQセミナー参加他				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・リモートワーク制度（在宅勤務/サテライトオフィス勤務/モバイル勤務）を実施している ※ご参考:トッパンサステナビリティレポート2021　P.20			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・DX推進コンセプト「ErhoehtーX（エルヘートクロス）のもと、グループで約3,000人のDX専門人材が、自社の変革だけでなく、社会や企業のデジタル変革を支援しており、熊本営業所でも連携して取り組んでいる （例）小中学生向けデジタル教材：navima、多言語AIサイネージ、地域創生決済サービス：地域Pay、水害・防災シミュレータ：防災VR等								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。																				

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：凸版印刷株式会社
西日本事業本部　熊本営業所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み （※事業者が記載する欄） ※ご参考:トッパンサステナビリティレポート2021 https://www.toppan.co.jp/assets/pdf/sustainability/2021/csr2021 detail-ja.pdf	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット）																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・印刷物やパッケージに森林認証紙の使用を促している ・紙器・軟包装・段ボールにてCoC認証を取得 ・グリーン購入ネットワーク（GPN）へ参加 ・一般教育、特定作業教育、緊急事態対応訓練を全社的に実施、熊本営業所でも行っている ※ご参考:トッパンサステナビリティレポート2021　P.95-96			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・簡易計算シートを用いて、エネルギー使用量を把握し、リモートワークの推進等により削減に取り組んでいる							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シートを用いて、温室効果ガス排出量を把握し、リモートワークの推進等により排出抑制に取り組んでいる		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・印刷物やパッケージに森林認証紙の使用を促している ・パッケージのアルミからの切り替えを促している						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・紙くずは月1回の4S（整理・整頓・清潔・清掃）にて熊本営業所から本部へ送付、リサイクル活動を行っている ※ご参考:トッパンサステナビリティレポート2021　P.90-92									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・熊本営業所の各人に、節水に努めるよう啓蒙している		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・環境配慮型製品と環境関連ビジネスを全社的に展開、熊本営業所でも受注活動を行っている ※ご参考:トッパンサステナビリティレポート2021　P.102-104									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	・熊本営業所にて、水分や酸素の侵入・放出による製品の変質・劣化を防ぐ透明バリアフィルムを使った機能性パッケージの製造・販売を行っており、賞味期限延長を実現するとともに、DX連携で需要・供給を最適化し、一次産業から生活者までバリューチェーン全体で食品ロスを削減 ※ご参考:トッパンサステナビリティレポート2021　P.17	1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。														11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。									6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・パッケージのモノマテリアル（単一素材）化によるリサイクル適性の向上に注力し、軟包材に使用される主要素材（PE、PP、PET）を基材とするバリアフィルムを開発。パッケージへ展開することでモノマテリアル化を推進、プラスチックごみ削減に貢献している（熊本営業所でも得意先パッケージの切り替えによる貢献活動を実施） ※ご参考:トッパンサステナビリティレポート2021　P.15												12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。												9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 凸版印刷株式会社
西日本事業本部　熊本営業所

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄） ※ご参考:トッパンサステナビリティレポート2021 https://www.toppan.co.jp/assets/pdf/sustainability/2021/csr2021 detail-ja.pdf	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・全事業所で品質マネジメントシステム（ISO9001）の実効性向上を推進 ※ご参考:トッパンサステナビリティレポート2021　P.47-48			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・本社にてコミュニケーションデザインのユニバーサルデザイン対応指針を設定し商品を開発しており、熊本営業所で多言語AIサイネージ、認知症体験VR等を販売している ・本社にてパッケージデザインのユニバーサルデザイン対応指針を設定し商品を開発しており、熊本営業所でボトル型衛生ウェットシート容器、医薬品向けバリアフリー包材、バイオマスプラスチック容器等を販売している ※ご参考:トッパンサステナビリティレポート2021　P.56-60									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。					2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。										7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。					2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・玉名にある工場周辺の市道やその周辺の清掃・除草作業 ・熊本赤十字血液センターの献血協力	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・複合災害に備え、避難グッズを1人1セット準備している ・ニューノーマルへ対応した訓練の実施 ・防災ホームページによる情報発信を全社的に実施、熊本営業所でも活用している ※ご参考:トッパンサステナビリティレポート2021　P118				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。				1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	・「予防・減災」「発災・避難時」「避難生活」各シーンで活用する商品を熊本営業所でも販売 （例）防災教育用VR開発、非常用・防災用電池MgBox、防災風呂敷販売他									9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・SDGsの普及啓発に向け、自治体や熊本県内企業へアピールしている （例）熊本市SDGs普及啓発イベント（熊本日日新聞社と連携） ※ご参考:トッパンサステナビリティレポート2021　P.68	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。							4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。							4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。					2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

24　10

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。